

【有害鳥獣】

～生活環境被害対策～

けもの相談所



この資料は屋根裏・床下・壁内などに中型獣が侵入した場合に、

①動物の可能性を整理する

②被害の原因を確認する

③再侵入を防ぐための手順を確認する

ための資料です。

※ 足跡・糞・音だけで種を断定せず、複数の痕跡を合わせて判断します。

※ 捕獲や駆除には法令上の制限があります。無許可で捕獲することはやめましょう。

屋内被害の典型パターン

動物種が違って被害構造はおおむね共通です。騒音・糞尿・衛生リスク・建物劣化・再侵入が大きな課題になります。



騒音

夜間に天井裏・壁内を走る音、ひっかき音がする。
生活不安や精神的な不安を増やす。

糞尿

ため糞・尿染みによる天井材や断熱材の劣化や悪臭。
最悪の場合、天井の建材が腐食する。

衛生

動物に付着するダニ・ノミが家の中へ。またカビや病原体リスクが高まる。※素手での作業は避ける。

建物

断熱材の巣材化、配線・配管周辺の損傷、雨漏り箇所の拡張利用。侵入のため、壁に穴を開ける。

再発しやすい条件

- 侵入口・足場、臭い(ため糞等)・巣材が残ると、同じ場所を再利用されやすい。
- 封鎖だけでなく、清掃・消毒・消臭・再点検までを一連の作業が大切になる。

屋内に侵入しやすい中型獣の見分け方①：外見・体型

種の断定ではなく「どの可能性が高いか」を整理するための比較。屋根裏ではアライグマ・ハクビシン・イタチ類が中心。

アライグマ



有害鳥獣／特定外来生物

【外見】

- ・目の周りが黒い
- ・尾にしま模様
- ・丸い体型

【特徴】

- ・手先が器用
- ・登ることが得意
- ・屋根裏や物置に入る
- ・屋内でため糞をする

ハクビシン



有害鳥獣

【外見】

- ・顔の中央に白い線
- ・胴が長い
- ・尾が長い

【特徴】

- ・屋根裏に入りやすい
- ・屋内でため糞をする
- ・果実被害が多い
- ・細い所も歩く

イタチ



【外見】

- ・テンより小型
- ・細長く小型
- ・体は黄褐色
- ・季節で毛色が変わる（夏...茶、冬...黄）

【特徴】

- ・小さい穴から侵入
- ・動きが速い
- ・屋内では同じ場所に糞をする

テン



【外見】

- ・イタチよりやや大きい
- ・尾が太い
- ・季節で毛色が変わる（夏...茶、冬...黄）

【特徴】

- ・木登りが得意
- ・屋根裏に入る
- ・山林近くで多い
- ・屋内では同じ場所へ糞をする

タヌキ



有害鳥獣

【外見】

- ・丸い体型
- ・顔に黒い模様
- ・犬に近い足跡

【特徴】

- ・床下に入る
- ・庭や畑に出る
- ・同じ場所に糞をする

アナグマ



【外見】

- ・ずんぐりした体型
- ・爪が長い
- ・顔に白黒の模様

【特徴】

- ・穴掘りが得意
- ・床下に入る
- ・基礎周りを掘る

有害鳥獣...被害防止のため、自治体の計画や許可に基づき捕獲対象となる場合がある野生鳥獣。(捕獲には許可必要)
特定外来生物...外来生物法で指定された外来種。飼う・運ぶ・逃がすことが原則禁止。

屋内に侵入しやすい中型獣の見分け方②：大きさ／足跡

痕跡は「単独で断定」せず、複数情報で絞り込む。

頭胴長：鼻先～尾の付け根
尾 長：尾の付け根～尾の先
全 長：鼻先～尾の先

動物	大きさ	足跡	歩行パターン
 アライグマ	頭胴長：42～60cm 尾 長：20～40cm 体 重：6～10kg	長さ：5cm 幅：6cm 	5本指の手形状の足跡が残りやすい。柱・雨樋・壁・屋根まわりを登って移動することがある。
 ハクビシン	頭胴長：47～54cm 尾 長：37～43cm 体 重：1.8kg～4.3kg	長さ：5cm 幅：4～4.5cm 	細い場所を歩くのが得意。屋根・梁・電線・塀などを通路として使いやすい。
 イタチ	頭胴長：♂28～37cm ♀23～27cm 尾 長：♂11～15cm ♀9～10cm 体 重：♂270～600g ♀110～180g	長さ：2～3cm 幅：1.5～3cm 	小さな足跡が残る。壁際・隙間・配管まわりなど、狭い場所を素早く移動しやすい。
 テン	頭胴長：♂44～49cm ♀42～43cm 尾 長：♂17～24cm ♀20～21cm 体 重：♂1～2kg ♀0.8～1kg	長さ：4～5cm 幅：3～3.5cm 	イタチよりやや大きい足跡。屋根・樹木・梁を使い、山林側から侵入することがある。
 タヌキ	頭胴長：53～61cm 尾 長：15～20cm 体 重：3～5kg	長さ：3.5～4cm 幅：3～3.5cm 	犬に近い足跡。地面・庭・床下まわりを歩くことが多く、屋根裏より床下利用が多い。
 アナグマ	頭胴長：58～68cm 尾 長：12～16cm 体 重：4.5～9kg	長さ：6.5cm 幅：5cm 	長い爪跡や掘り跡が手がかかり。床下・基礎まわり・穴の周辺を確認する。

屋内に侵入しやすい中型獣の見分け方③ : その他の特徴

痕跡は「単独で断定」せず、複数情報で絞り込む。

動物	糞	声・音	繁殖期・幼獣	その他
 アライグマ	ため糞をすることがある。果実の種・昆虫片が混じることが多い。量は多め。	天井裏でドタドタと重い足音。威嚇時に「グルル」「ギャッ」と鳴く。	春～初夏に幼獣がいることが多い。親子で屋根裏を使うことがある。	手のような5本指の足跡。登る力が強く、柱・雨樋・壁を利用する。
 ハクビシン	ため糞をする。果実の種が多く混じりやすい。長い糞がまとまる。	夜間にトコトコ、コトコトと歩く音。驚くと「ギャー」と鳴くことがある。	春～秋に幼獣が見られることがある。屋根裏で子育てすることがある。	電線・梁・屋根上を移動しやすい。細い通路を繰り返し使う。
 イタチ	細長くねじれた糞。毛・骨・羽などが混じることがある。	カサカサ、タタタと軽く速い足音。甲高く「キー」「キッ」と鳴くことがある。	春～初夏に幼獣がいることがある。鳴き声が増える場合がある。	小さな隙間から侵入する。ネズミ・鳥などを追って入ることもある。
 テン	長い糞。果実の種・小動物の毛・骨が混じることがある。イタチよりやや大きめ。	梁や天井裏を走る軽～中程度の音。夜間に移動音が出やすい。	春～初夏に幼獣がいることがある。巣として屋根裏を使う可能性あり。	木登りが得意。山林近くの家屋では屋根・樹木経由で侵入しやすい。
 タヌキ	ため糞が典型。黒っぽい糞に植物片・昆虫片・種子が混じることがある。	床下でガサゴソ、トコトコ。犬に近い「クーン」「キャン」という声を出すことがある。	春～初夏に幼獣がいることが多い。床下や物置下を巣にすることがある。	屋根裏より床下利用が多い。家屋周辺の藪・空き地・側溝も確認する。
 アナグマ	土を掘ったくぼみに糞をすることがある。ため糞状に見える場合もある。	床下で重めのガサゴソ音。掘る音、こする音が出ることもある。	春に幼獣がいることがある。巣穴・床下で子育てする可能性あり。	屋根裏より床下・地面下が中心。掘り跡、穴、土の盛り上がりを確認する。

対策の基本順序

対策の基本の流れは「状況確認 → 対策計画 → 追い出し／封鎖 → 清掃 → 再点検」。(緑の部分はけもの相談所での対応可能)

①ヒアリング・現場確認

- 【目的】
被害状況の確認／動物種・経路の推定等
- 【手法】
(1)ヒアリング
被害状況／時期／音などをヒアリングする。
(2)現場確認
天井裏・軒下／庭／近隣の状況確認する。

②侵入・滞在現況の確認

- 【目的】
再侵入し、滞在しているかを確認する。
- 【手法】
(1)センサーカメラの設置(1週間程度)
侵入経路を推定し、経路沿いにカメラを設置し、動向を調べる。

③対策計画

- 【目的】
どの時期に、対策を実施するか決める。
- 【手法】
(1)計画
被害状況や動物種に対応するための、対策手段と実施時期を決める。

④忌避剤散布／侵入口封鎖

- 【目的】
心理・物理の両面から家屋への侵入を防ぐ
- 【手法】
(1)忌避剤の散布
忌避剤などを散布し、追い出しと侵入をためらわせる。
(2)侵入口の封鎖

⑤糞除去・消毒

- 【目的】
汚染物・誘因物になりうる糞を除去・消毒し、生活汚染を除去する。
- 【手法】
(1)糞除去／断熱材等の入替
(2)消毒薬の散布

⑥再点検

- 【目的】
対策がうまくいっているかを確認する。
- 【手法】
(1)被害があった場所を再度確認
(2)糞尿や足跡などを確認
(3)塞ぎ残しの確認

※対策実施時の 注意点

- ・無防備で糞を除去しない → 病気や寄生虫リスクがあります。
- ・許可なく獣を捕獲しない → 法令違反です。
- ・忌避剤だけで解決扱いにしない → 忌避剤は獣を一時的に不快にさせますが、いずれ慣れます。
- ・臭いと侵入口を残さない → 一時的にいなくなっても、不定期に再訪されます。

忌避剤の散布の手法と注意点

忌避剤は、動物を近づきにくくするための補助対策です。

【注意点】

- 侵入口を塞ぐ前の手法だが、**忌避剤だけでは再侵入を防げない。**
- 侵入口を塞ぐ前の（念のための）追い出しや、封鎖後の再訪時に不快感を与えることが主な目的になります。
- **侵入口を塞ぎ、糞尿を清掃・消毒・消臭し、餌場や足場を整理することが重要**であり、**忌避剤は補助的な役割**です。

～忌避剤の種類～

使いやすいのは「粒剤・固形タイプ」で、一時的な追い出しには「くん煙・くん蒸系」がおすすめ。

【粒剤・固形タイプ】

侵入口周辺、基礎まわり、軒下、物置周辺など、屋外・半屋外で使いやすい。

【ゲル・シートタイプ】

天井裏、床下、倉庫など、雨が当たりにくい場所で使いやすい。

【スプレータイプ】

侵入口や通路など、ピンポイントで一時的に使う補助向き。

【くん煙・くん蒸系】

追い出しには良いが、効果は一時的で根本対策にはならない。

侵入口を塞ぐ際の手法と注意点

封鎖の判断ミスが一番危ない。中に獣が残っていないか、幼獣がいないか、別の出口がないかを確認してから施工する。

【①侵入口のチェック】



【②侵入口を塞ぐ前の確認事項】

- ・獣の声や音がしないか？／糞が新しいか？
- ・幼獣が残っていないか？
- ・くまなく侵入口を探したか？
- ・木の枝・雨樋・物置など足場が残っていないか？

【③侵入口を塞ぐ】

- 小さな隙間を残すと、動物が押し広げたり掘り開けたりして再侵入することがある。
- 侵入口は隙間なく塞ぎ、換気口・通気口は通気を残したまま金網等で防ぐ。
- イタチ類は3cm程度の隙間でも侵入する可能性があるため、目合い1～2cm程度の金属製メッシュを使用し、ビス等でしっかり固定する。

～メッシュ素材を選ぶ目安(おすすめ)～

- 金属製の亀甲金網または平織金網
- 目合いは1～2cm程度
- 雨が当たりやすい場所はステンレス製や亜鉛メッキ製を選択

～注意点～

- 「10mm目」と「10メッシュ」は別物(10メッシュはかなり細かい網で、通気口では通気量に注意)
- 樹脂ネット、防鳥ネット、園芸ネット、養生テープだけでは不十分
- ダイソー等のワイヤーネットは応急・補助用とし、本施工はホームセンターなどで売っている金属製メッシュをビスで固定することを推奨

糞除去・消毒・再発防止

封鎖後も、糞尿・巣材・臭いが残ると再侵入や衛生リスクにつながるため、清掃までが対策です。



1. 防護

手袋・マスク・ゴーグル・長袖。
絶対に素手で触らない。

2. 回収

糞・巣材・汚染断熱材を袋詰め。
粉じんを立てない。

3. 清掃

乾いた糞を強く掃かない。
必要に応じて湿らせて処理。

4. 消毒・消臭

汚染箇所を消毒し、臭いを残さない。

5. 再点検

1カ月後、天井の染み、断熱材、配線、侵入口
などを確認し、再侵入がないか確認する

【注意点】

- 天井裏で広範囲に糞尿・断熱材汚染がある場合、無理に自力作業をしない。
- 転落・粉じん・感染・電気配線のリスクが大きい場合は、専門業者へ相談を。

「追い出して終わり／塞いで終わり」ではなく、「侵入口封鎖＋清掃消毒＋臭い対策＋再点検」までで完了。

消毒液の作り方

1 用意するもの

- 塩素系漂白剤 (約5%)
- 水
- 計量カップ
- スプーン
- ゴム手袋
- マスク
- ゴーグル(任意)

2 0.05%を作る

水1Lに
漂白剤 約10mL

通常の消毒に
キャップ(5ml)で
約2杯が目安

3 0.1%を作る

水1Lに
漂白剤 約20mL

糞尿汚れが強い場所に
キャップ(5ml)で
約4杯が目安

4 使い方

汚れを先に取り
↓
拭いて消毒する
↓
5～10分を目安に置く
↓
最後に乾燥させる

【注意点】

※キャップ量は5mLキャップの場合の目安です。商品により容量が異なるため、できるだけ計量カップや計量スプーンで量ってください。

- 商品ラベル／注意事項を確認
- 塩素系と酸性を混ぜない
- 金属・布・木材は変色に注意
- 作った液は早めに使う
- 換気をよく行う
- 使用後は手をよく洗う

① 用意するもの



手袋・マスクを着用

② 0.05%を作る



水1Lに
漂白剤 約**10**mL
通常の消毒に

ペットボトルキャップ
約**2**杯分が目安

③ 0.1%を作る



水1Lに
漂白剤 約**20**mL
糞尿汚れが強い場所に

ペットボトルキャップ
約**4**杯分が目安

④ 使い方



- 汚れを先に取り



- 拭いて消毒する



- 5～10分置く



- 最後に乾燥させる

【現地確認メモ】

①確認日： 年 月 日

②推定される動物：

☐ アライグマ ☐ ハクビシン ☐ イタチ ☐ テン ☐ タヌキ ☐ アナグマ ☐ 不明

③主な被害場所：

☐ 天井裏 ☐ 壁内 ☐ 床下 ☐ 物置 ☐ 庭 ☐ その他()

④確認された痕跡：

☐ 足跡 ☐ 糞 ☐ 尿染み ☐ 音 ☐ 目撃 ☐ 侵入口 ☐ 巣材 ☐ 臭い

⑤想定される侵入経路：

⑥今後の対応：

- ☐ センサーカメラ設置
- ☐ 忌避剤散布
- ☐ 侵入口封鎖
- ☐ 糞除去・消毒
- ☐ 専門業者相談
- ☐ 再点検

注意事項：